

資料編

事業概要

課題解決型の
シアターマネジメントに向けた
次世代リーダー育成のための
プログラムの開発



1. 育成する対象人材についての説明



全国の公立劇場で事業に携る**ミッドキャリア**現職者を対象とし、9つの**協力劇場**から研修生を派遣していただきます。

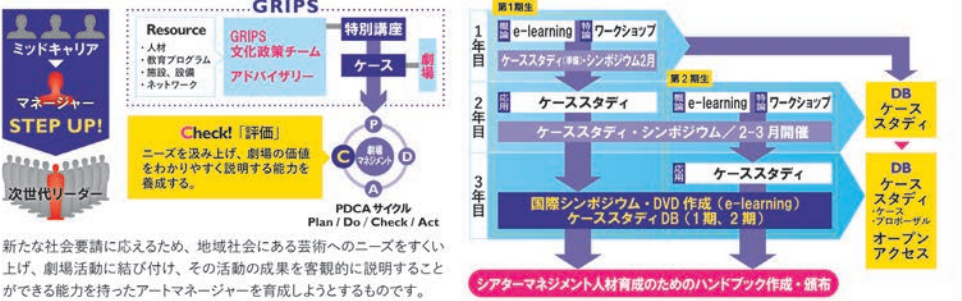
①札幌コンサートホール Kitara ②北上市文化交流センターさくらホール ③彩の国さいたま芸術劇場 ④まつもと市民芸術館
⑤上田市交流文化芸術センターサントミューゼ ⑥ロームシアター京都 ⑦神戸文化ホール ⑧北九州芸術劇場 ⑨博多座

2. その対象を育成することの意義

- 文化のニーズをくみ取り説明責任が果たせる
次世代リーダーを育成する
- 派遣元の劇場に知見を持ち帰る
- 開発された**人材育成プログラム**を無料公開、共有化し、
将来の人材育成に寄与する

派遣元劇場と協働で、劇場と地域が直面する課題を解決するための提案を作成することを通じ、実践的対応能力、特に説明責任を果たせる能力を育成することを想定しています。これにより、**PDCA**サイクルを俯瞰し、他分野とも協力・連携できるリーダーを養成し、ひいては地域における劇場等の経営的基盤を強化することにつながります。

3. プログラム内容



4. 平成29年度事業における取組



GRIPS 公共政策プログラム文化政策コース HP 内に、オンライン学習のための専用ページを開設しました。「政策・法経済」地方自治マネジメント分析と論などを中心に構成した特別講座を、全国で受講可能なストリーミング配信行います。講師は本学関係教員を当て、受講者からの質問やコメント、教員からの助言・回答はオンライン上のグループフォルダで共有、双方の効果的な学習を目指します。

5. 将来展望

	e-learning	ケーススタディ	国際シンポジウム ワークショップ
H29（第一期）	ストリーミング配信	—	開催
H30（第二期）	ストリーミング配信	ケーススタディDB 第一期	開催
H31（第三期）	DVD	ケーススタディDB 第二期	開催
H32以降…	ハンドブック	—	未定

e-learning（全27コマ／各年）
「政策・法・経済」「地方自治（ローカルガバナンス）」「マネジメント分析と方法論」他
ワークショップ（各年）
ケーススタディ（ケース・プロポーザル）発表 合計18回／9件×各年
国際シンポジウム（全3回／毎年2月）
専門家・実務家対象 国際シンポジウム開催

特別講座一覧

e-learning 特別講座一覧



GRIPS公共政策プログラム文化政策コースHP内、
オンライン学習のための専用ページで公開中の講座です。（全27コマ／各年）

タイトル		講師	
イントロダクション			
1. イントロダクション	政策研究大学院大学 ディレクター・教授	垣内	恵美子
2. アドバイザリーからのメッセージ（1）	日本大学理工学部 特任教授	本杉	省三
3. アドバイザリーからのメッセージ（2）	北九州芸術劇場 顧問	津村	卓
4. アドバイザリーからのメッセージ（3）	兵庫県立芸術文化センター ゼネラルマネージャー	林	伸光
5. アドバイザリーからのメッセージ（4）	（一社）日本劇場技術者連盟 理事長	齋藤	譲一
基礎講座			
6. 政府・行政の役割と責任領域	政策研究大学院大学 教授	堀江	正弘
7. 公共政策の決定 執行 評価		堀江	正弘
8. 地方自治の歩みとこれからの課題	政策研究大学院大学 教授	横道	清孝
分野別政策			
9. 日本における文化政策（1）	政策研究大学院大学 ディレクター・教授	垣内	恵美子
10. 日本における文化政策（2）		垣内	恵美子
11. 教育政策	政策研究大学院大学 教授	今野	雅裕
12. まちづくり政策（1）	政策研究大学院大学 教授	家田	仁
13. まちづくり政策（2）		家田	仁
14. まちづくり政策（3）		家田	仁
地方自治とローカルガバナンス			
15. イントロダクション	政策研究大学院大学 教授	高田	寛文
16. 地方公共団体と市町村合併		高田	寛文
17. 地方公共団体の事務と地方分権		高田	寛文
18. 地方公共団体の機関		高田	寛文
19. 住民と地方公共団体、国と地方公共団体及び地方公共団体間の関係		高田	寛文
20. 地方公務員制度		高田	寛文
21. 地方財政の状況、地方税制度		高田	寛文
22. 地方交付税制度、地方債制度、地方財政の健全化など		高田	寛文
データ分析の基礎			
23. 統計データの収集と加工	政策研究大学院大学 教授	大山	達雄
24. 統計データの処理と基礎統計学		大山	達雄
25. 統計分析手法と分析事例		大山	達雄
応用編			
26. 劇場の経済価値（1）	政策研究大学院大学 ディレクター・教授	垣内	恵美子
27. 劇場の経済価値（2）		垣内	恵美子

課題解決型のシアターマネジメントに向けた次世代リーダー育成のためのプログラムの開発

国際シンポジウム・ワークショップ

シンポジウム
ワークショップ

劇場の未来を 考える

課題解決型
シアターマネジメント
2018

開催日時

2018年3月5日 [月]
14:30 - 17:30 シンポジウム
18:00 - 20:00 懇親会

2018年3月6日 [火]
10:30 - 14:30 ワークショップ

協力劇場

札幌コンサートホール Kitara /
北上市文化交流センターさくらホール /
彩の国さいたま芸術劇場 / まつもと市民芸術館 / 上田市交流文化芸術センターサントミューゼ / ロームシアター京都 / 神戸文化ホール / 北九州芸術劇場 / 博多座

大学から
文化庁
POWER OF CULTURE

平成29年度 文化庁
大学を活用した文化芸術推進事業
課題解決型の
シアターマネジメントに向けた
次世代リーダー育成のための
プログラムの開発

政策研究大学院大学
GRIPS
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES
公共政策プログラム 文化政策コース



[チラシ・表面]

劇場の未来を考えるー課題解決型シアターマネジメント2018ー

劇場の未来を考える

課題解決型シアターマネジメント 2018

このたび、下記要領でシンポジウム・ワークショップを開催します。国内外の最新動向に関する情報共有の場として、また各劇場の現状を整理し、課題抽出、解決に向けた調査・分析、改善のための講義、議論を行う予定です。

2018年3月5日 [月]
シンポジウム

時間 14:30 - 17:30 ※受付 14:00
会場 政策研究大学院大学 4階 研究会室 4A

受付にて懇親会費とワークショップのランチ代をお支払いください。
5日・6日両日参加=6,000円
5日のみ参加=5,000円 / 6日のみ参加=1,000円

14:30 - 15:10 クサビエ・グレフ「劇場に期待するもの：国際的な潮流から」（40分：通訳付）
15:10 - 15:40 コーヒーブレイク
15:40 - 15:55 垣内恵美子「劇場の社会的価値：来ない人たちに何ができるのか」
15:55 - 16:10 本杉省三「地域に開かれた劇場：人が集まるアートな空間」
16:10 - 16:25 林伸光「チケットを売り切る：マーケティングで社会とつながる」
16:25 - 16:40 斎藤謙一「つながる劇場：地域連携、劇場連携を考える」
16:40 - 16:55 津村卓「想像そして創造から広がる事業：アートの力」
17:00 - 17:20 ディスカッション（全体）
17:20 - 17:30 クロージングリマーク（場内）

2018年3月5日 [月]
懇親会

時間 18:00 - 20:00
会場 アップステアーズ
(Mercedes me Tokyo UPSTAIRS)
住所 東京都港区六本木 7-3-10 2F

各劇場による発表（各20分、セッティング5分）
10:30 - 10:50 上田市交流文化芸術センターサントミューゼ
10:55 - 11:15 北上市文化交流センターさくらホール
11:20 - 11:40 北九州芸術劇場
11:45 - 12:05 彩の国さいたま芸術劇場
12:05 - 13:00 休憩
13:00 - 13:20 ロームシアター京都
13:25 - 13:45 神戸文化ホール
13:50 - 14:10 札幌コンサートホール Kitara
14:15 - 14:30 クロージングリマーク（場内）

2018年3月6日 [火]
ワークショップ

時間 10:30 - 14:30 ※受付 10:00
会場 政策研究大学院大学 4階 研究会室 4A

プログラムの内容は一部変更になる可能性があります。
ランチにお弁当をご用意いたします。

講師 ディレクター
垣内 恵美子 政策研究大学院大学 公共政策プログラム文化政策コース 教授

アドバイザー
斎藤 謙一 (一社) 日本劇場技術者連盟 理事長
津村 卓 (一財) 地域創造 プロデューサー
上田市交流文化芸術センター 館長兼プロデューサー
北九州芸術劇場 顧問
林 伸 光 兵庫県立芸術文化センター ゼネラルマネージャー
本 杉 省 三 日本大学 理工学部 特任教授

協力研究者
Xavier Greffe (クサビエ・グレフ) パリ第一大学 名誉教授

主催 政策研究大学院大学 公共政策プログラム 文化政策コース
gripsculture-mi@grips.ac.jp
https://www.culture.grips.ac.jp/

参加費 無料（会場までの交通費及び宿泊費等は各自負担ください）



政策研究大学院大学 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL:03-6439-6000 URL: http://www.grips.ac.jp/jp/

●都営大江戸線「六本木駅」7出口から徒歩5分
●東京メトロ日比谷線「六本木駅」4A出口から徒歩10分
●東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5出口から徒歩6分

[チラシ・裏面]

劇場の未来を考えるー課題解決型シアターマネジメント2018ー

国際シンポジウム 開催風景



開催日時：2018年3月5日（月）14：30－17：30

基調講演：クサビエ・グレフ

アドバイザー：齋藤 譲一、津村 卓、林 伸光、本杉 省三

ワークショップ 開催風景



開催日時：2018年3月6日（火）10：30－14：30

協力劇場研修生による劇場紹介（全9劇場のうち劇場出席）

事業概要

特別講座DVD



課題解決型のシアターマネジメントに向けた
次世代リーダー育成のためのプログラムの開発
特別講座 全29回 収録（Disc1. ～ Disc7.）
制作：政策研究大学院大学 公共政策プログラム文化政策コース

平成30年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業

課題解決型のシアターマネジメントに向けた次世代リーダー育成のためのプログラムの開発

1 育成する対象人材についての説明

全国の公立劇場で事業に携るミッドキャリア現職者を対象とし、16の協力劇場から研修生を派遣していただきます。

平成29年度 協力劇場
①札幌コンサートホールKitara ②北上市文化交流センターさくらホール ③彩の国さいたま芸術劇場 ④まつもと市民芸術館 ⑤上田市交流文化芸術センターサントミュージ ⑥ロームシアター京都 ⑦神戸文化ホール ⑧北九州芸術劇場 ⑨博多座

平成30年度 協力劇場
⑩神奈川県民ホール ⑪ミュージアム川崎シンフォニーホール ⑫リコーとびあ 新潟市民芸術文化会館 ⑬穂の国とよはし芸術劇場PLAT ⑭パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) ⑮森の劇場 しいの実シアター(松江市八雲林間劇場) ⑯南城市文化センター・シュガーホール

2 その対象を育成することの意義

- 文化のニーズをくみ取り説明責任を果たせる次世代リーダーを育成する。
- 派遣元の劇場に知見(マネジメントプロポーザル)を持ち帰る。
- 開発された人材育成プログラム(ハンドブック)を無料公開、共有化し、将来の人材育成に寄与する。

派遣元劇場と協働で、劇場と地域が直面する課題を解決するための提案を作成することを通じ、実践的対応能力、特に説明責任を果たせる能力を育成することを想定しています。これにより、PDCAサイクルを循環し、他分野とも協力・連携できるリーダーを養成、ひいては地域における劇場等の経営的基盤を強化することにもつながります。

3 育成プログラムの内容 & 4 平成29年度事業における育成の成果

e-learning教材の作成 オンライン学習環境の整備の実現
ワークショップ・国際シンポジウムの開催 人的交流・知見の集積
ケーススタディの準備 ハンドブック完成に向けた情報収集

第1期生
H29年度 e-learning ワークショップ
ケーススタディ(※1) シンポジウム3月
第2期生
H30年度 e-learning ワークショップ
ケーススタディ(※2) シンポジウム2-3月開催
H31年度 e-learning ワークショップ
ケーススタディ(※3) シンポジウム2-3月開催

Check! 「評価」
ニーズを汲み上げ、劇場の価値をわかりやすく説明する能力を養成する。

PDCAサイクル
Plan/Do/Check/Act

新たな社会要請に応えるため、地域社会にある芸術へのニーズをすくい上げ、劇場活動に結び付け、その活動の成果を客観的に説明することができる能力を持ったアートマネージャーを育成しようとするものです。

5 平成30年度事業における取組

第1期生 各劇場の現状整理(ケース作成)のち、全国インターネット調査の結果・分析を踏まえ、抽出された課題改善のための提案(マネジメントプロポーザル)をまとめます。

第2期生 GRIPS専用HPにて特別講座をオンライン学習。次年度に向けた準備を行います。

データベース構築 昨年度(H29)から配信中の特別講座のアーカイブ(DVD)化を行います。

ワークショップ 国際シンポジウム これまでの総括、国内外最新情報の共有を図ります。

政策研究大学院大学 公共政策プログラム 文化政策コース
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES CULTURAL POLICY CONCENTRATION

開催日時：2018年3月5日（月）14：30 - 17：30

会場：政策研究大学院大学

国際シンポジウム・ワークショップ



劇場の未来を考える

課題解決型シアターマネジメント2019

シンポジウム・ワークショップ

2019年2月20日 [水]

シンポジウム 14:00-17:15

懇親会 18:00-20:00

2019年2月21日 [木]

ワークショップ 10:00-13:00

平成30年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
課題解決型のシアターマネジメントに向けた次世代リーダー育成のためのプログラムの開発

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

公共政策プログラム
文化政策コース
CULTURAL POLICY CONCENTRATION

文化力
POWER OF CULTURE

[チラシ・表面]

劇場の未来を考えるー課題解決型シアターマネジメント2019ー

シンポジウム
ワークショップ

劇場の未来を考える

課題解決型シアターマネジメント2019



このたび、下記要領でシンポジウム・ワークショップを開催します。国内外の最新動向に関する情報共有の場として、また各劇場の現状を整理し、課題抽出、解決に向けた調査・分析、改善のための講義、議論を行います。

2019年2月20日 [水]

シンポジウム

時間 14:00 - 17:15 (受付13:30 ~)

会場 政策研究大学院大学4階 研究会室4A

懇親会

時間 18:00 - 20:00

会場 アップステアーズ
Mercedes me Tokyo UPSTAIRS

14:00 - 15:00 基調講演 | クサビエ・グレフ (60分 逐次通訳)

15:00 - 15:30 インターネット調査結果説明 | 垣内

15:30 - 16:30 パネルディスカッション | アドバイザリー・研修生

●「自治体との関係性の構築」
北上市文化交流センター さくらホール・上田市文化交流芸術センター サントミューゼ

●「観客創出と地域連携」
彩の国さいたま芸術劇場・北九州芸術劇場・博多座
※30分×2パネル

16:30 - 17:00 ディスカッション

17:00 - 17:15 クロージングリマーク | 垣内、記念写真

住所 東京都港区六本木7-3-10 2F

会費 5,000円 ※シンポジウム会場でお支払いください。

2019年2月21日 [木]

ワークショップ

時間 10:00 - 13:00 (受付9:30 ~)

会場 政策研究大学院大学4階 研究会室4A

研修生による劇場紹介 (プレゼン10分+質疑5分)

10:00 - パティオ池鯉鮒 (知立市文化会館)

10:15 - 穂の国とよはし芸術劇場PLAT

10:30 - 神奈川県民ホール

10:45 - ミューザ川崎シンフォニーホール

11:00 - 森の劇場 しいの実シアター (松江市八雲林間劇場)

11:15 - 南城市文化センター・シュガーホール

11:30 - 博多座

11:45 - ディスカッション、記念写真

講師 ディレクター
垣内 恵美子 政策研究大学院大学
公共政策プログラム文化政策コース 教授

アドバイザリー
齋藤 謙一 (一社)日本劇場技術者連盟 理事長
津村 卓 (一財)地域創造 プロデューサー
上田市文化交流芸術センター 館長兼プロデューサー
北九州芸術劇場 顧問
林 伸光 兵庫県立芸術文化センター セネラルマネージャー
本杉 省三 日本大学 理工学部 特任教授

協力研究者
Xavier Greffe (クサビエ・グレフ) ソルボンヌ大学 名誉教授

主催 政策研究大学院大学 公共政策プログラム 文化政策コース
culture@grips.ac.jp
https://www.culture.grips.ac.jp/

参加費 無料(会場までの交通費及び宿泊費等は各自負担ください)
※プログラムの内容は一部変更になる可能性があります。



政策研究大学院大学 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL: 03-6439-6000 URL: http://www.grips.ac.jp/jp/

●都営大江戸線「六本木駅」7出口から徒歩5分
●東京メトロ日比谷線「六本木駅」4A出口から徒歩10分
●東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5出口から徒歩6分

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

公共政策プログラム
文化政策コース
CULTURAL POLICY CONCENTRATION

文化力
POWER OF CULTURE

文化力
POWER OF CULTURE

[チラシ・裏面]

劇場の未来を考えるー課題解決型シアターマネジメント2019ー

国際シンポジウム 開催風景

劇場の未来を考える
-課題解決型シアターマネジメント2019-

国際シンポジウム

平成31年2月20日開催



ワークショップ 開催風景

劇場の未来を考える
-課題解決型シアターマネジメント2019-

ワークショップ

平成31年2月21日開催



開催日時：2019年2月20日（水）14：00－17：15

基調講演：クサビエ・グレフ

インターネット調査結果概況説明：垣内 恵美子

開催日時：2019年2月21日（木）10：00－13：00

協力劇場研修生による劇場紹介（全16劇場のうち11劇場出席）

事業概要

課題解決型のシアターマネジメントに向けた次世代リーダー育成のためのプログラムの開発

1. 育成する対象人材についての説明

全国の公立劇場で事業に携るミッドキャリア 現職者を対象とし、16の協力劇場から研修生を派遣していただきます。



平成29年度 協力劇場
①札幌コンサートホールKitara ②北上市文化交流センターさくらホール ③彩の国さいたま芸術劇場 ④まつもと市民芸術館 ⑤上田市交流文化芸術センターサントミュージゼ ⑥ロームシアター京都 ⑦神戸文化ホール ⑧北九州芸術劇場 ⑨博多座



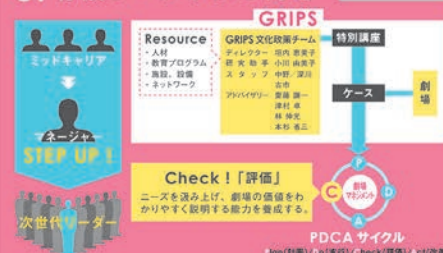
平成30年度 協力劇場
⑩神奈川県民ホール ⑪ミュージアム川崎シンフォニーホール ⑫りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 ⑬穂の国とよはし芸術劇場PLAT ⑭パティオ池袋劇場 (知立市文化会館) ⑮森の劇場 ⑯しいの実シアター (松江市八雲林間劇場) ⑰南城市文化センター・シュガーホール

2. その対象を育成することの意義

- 文化のニーズをくみ取り説明責任を果たせる次世代リーダーを育成する。
- 派遣元の劇場に知見(マネジメントプロポーザル)を持ち帰る。
- 開発された人材育成プログラム(ハンドブック)を無料公開、共有化し、将来の人材育成に寄与する。

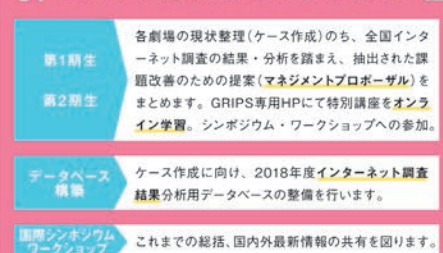
派遣元劇場と協働で、劇場と地域が直面する課題を解決するための提案を作成することを通じ、実践的対応能力、特に説明責任を果たせる能力を育成することを想定しています。これにより、PDCAサイクルを循環し、他分野とも協力・連携できるリーダーを養成、ひいては地域における劇場等の経営的基盤を強化することにもつなげます。

3. 育成プログラムの内容

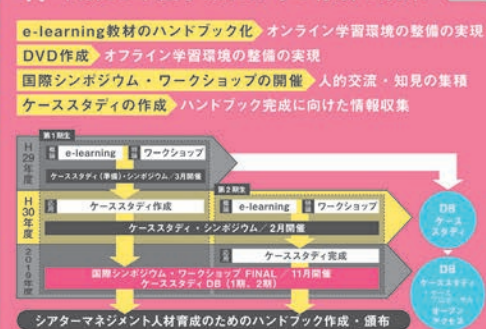


新たな社会要請に応えるため、地域社会にある芸術へのニーズをすくい上げ、劇場活動に結び付け、その活動の成果を客観的に説明することができる能力を持ったアートマネージャーを育成しようとするものです。

5. 2019年度事業における取組



4. 平成30年度事業における育成の成果



6. 将来展望

- 本事業の人材育成により、劇場が持つさまざまな機能を地域経営に結び付けることができるリーダーシップを持った人材を育成する。
- 研修生が作成したマネジメントプロポーザルを持ち帰り、各劇場の潜在的な能力を顕在化し、劇場の真の有効活用に資する。
- 本事業で得られた経済社会の仕組みに関する体系的な知識や分析手法、課題へのアプローチ方法など、専門的なノウハウを、劇場等、関係団体、インディペンデントの実践家も含めハンドブックとして広く共有することで、芸術と社会を結びつけるための一助となることを期待している。

ハンドブック (WEB版)



アートマネジメントのための特別講座などのオープンアクセス化を図る。

政策研究大学院大学 公共政策プログラム文化政策コースのWEBサイト上にて公開。

<https://www.culture.grips.ac.jp/2019>



政府・行政の役割と責任領域

政策研究大学院大学
名誉教授 堀江 正弘

この講座では、まず、今日の日本の政府・行政の役割と責任領域についてある程度のイメージを持った上で、世界的、歴史的に政府・行政の役割・責任領域がどのように変化してきたか、また、なぜ政府・行政の役割・責任領域が拡大してきたかについて考える。その上で、政府・行政の役割・責任領域について、学問の世界ではどのような議論が行われてきたか、また、日本における行政改革の中でどのように議論が整理されてきたかをたどる。以上のことを踏まえて、そして、この講座の研修生が文化行政に直接関係に関わる人たちであることを念頭に置いて、最後に、文化に関する政府・行政の役割について考える。

1. 今日の政府・行政の役割と責任領域

今日、政府・行政が何らかの役割を果たすことが期待されている。あるいは、責任を負っている領域は、国や社会のあらゆる分野、国民生活のほとんどの分野に見込んでいる。国について主な分野を例示的にあげれば、外交、防衛・安全保障、治安・法秩序の維持・司法、防災・災害対策、国際社会への貢献、財政、国有財産の管理、道路、鉄道、港湾、空港、通信施設など社会の基盤となる施設の整備・管理、農林水産業の振興と食糧の確保、産業・貿易の振興と経済の発展、公衆衛生、保健・医療、保険・年金をはじめとする国民の福祉・厚生、労働者の保護、雇用の確保、教育、科学技術の振興、スポーツの振興、文化財の保護、文化の振興、国土の保全と有効利用、都市の計画的整備、自然環境の保護・保全、公害防止、地球環境対策など広範にわたることが理解される。国の省庁等やその内部組織、地方自治体(県、市町村)の内部組織を、局、部、課、係などまでたどってその具体的な名称を見れば、行政がどのような分野でどのようなことをやっているか、より具体的なイメージを持つことができる。実際、今日では、政府・行政が直接関係に関わらない、あるいは、関心を持たない分野というのではないと言えてよい。

2. 国と地方の役割分限と関係

政府・行政の役割は、国と地方の政府によって担われている。より正確に言えば、これらの政府・行政の役割の実施は、国や地方の政府の組織だけではなく、政府が設立した特殊法人や独立行政法人などの法人、さらには民間の団体や個人によっても担われている。国と地方の関係、及び地方行政についての詳細は別の講座に委ねることとし、ここでは、基本的な

ハンドブック公開ページへ
アクセス



国際シンポジウム・ワークショップ

課題解決型シアターマネジメント

FINAL

劇場の未来を考える

2019年11月26日[火]
国際シンポジウム
14:00 - 17:30

2019年11月27日[水]
ワークショップ
10:30 - 12:30
クローズドセミナー
14:00 - 16:00

2019年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
課題解決型のシアターマネジメントに向けた
次世代リーダー育成のためのプログラムの開発

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

公共政策プログラム
文化政策コース
CULTURAL POLICY CONCENTRATION

文部科学省
文化力
POWER OF CULTURE

[チラシ・表面]

劇場の未来を考えるー課題解決型シアターマネジメントFINALー

劇場の未来を考える

課題解決型シアターマネジメント FINAL

The Future of Theater : Problems and Solutions

近年、経済社会の成熟化、高度化に伴い、文化へのニーズ、関心は大きく高まっている。しかしながら、市場では十分に供給されない外部性の大きな文化を、いかに創出し、継承していくのか。財政困難に直面し、PPPに示されるように政府の役割が縮小する中、誰がどのように文化の価値を維持するためのコストを負担するのか、改めて再検討する必要があるだろう。本シンポジウムでは、上記の問題意識を共有しながら、PARTIにおいて、各国の文化に関わる政策パッケージを概観し、現状認識を溶融するとともに、課題と今後の在り方について議論する。PARTIIにおいては、文化政策としての劇場に焦点を当て、劇場を取り巻く社会や制度の大きな変化にどう対応していくのか、劇場関係者や専門家によるパネルディスカッションを中心に検討する。あわせて2018年度に本事業で実施したインターネット調査結果を共有する。

大学から
文化力
POWER OF CULTURE

2019年11月26日[火]

国際シンポジウム

時間 14:00 - 17:30 (受付13:30 -)
会場 政策研究大学院大学3階 会議室3C

14:00 - 14:15 オープニングリマークス | 堀内 恵美子

PART I 基調講演「文化政策はどこに向かっていくのか」
International Symposium on the Role of Cultural Policy in Development

14:15 - 14:35 Xavier Greffe (クサビエ・グレフ) ※日英同時通訳有
14:35 - 14:55 Klaus R. Kunzmann (クラウス・クンツマン) ※日英同時通訳有
14:55 - 15:10 Q&A
15:10 - 15:30 コーヒーブレイク

PART II 館長会議「劇場が地域社会にできること - 地方文化政策の再構築」
What Can Theaters Do for Local Development?

15:30 - 17:00 コーディネーター: 本杉 省三
パネリスト: 齋藤 謙一、津村 卓、林 伸光、協力劇場館長 他
17:00 - 17:20 Q&A
17:20 - 17:30 クロージングリマークス | 堀内 恵美子、記念撮影

懇親会
18:00 - 20:00 場所: UPSTAIRS Mercedes me Tokyo (六本木) 2階 | 会費: 5,000円

2019年11月27日[水]

ワークショップ

時間 10:30 - 12:30 (受付10:00 -)
会場 政策研究大学院大学3階 会議室3C

研修生によるパネルディスカッション

10:30 - 11:00 ①文化創造・発信
北九州芸術劇場・穂の国とよはし芸術劇場PLAT
りゅうとびあ 新潟市民芸術文化会館

11:00 - 11:30 ②観客創造
神奈川県民ホール・南城市文化センター シュガーホール
パティオ池畔路 (知立市文化会館)

11:30 - 12:00 ③地域社会との連携
神戸文化ホール・北上市文化交流センター さくらホール
ミューザ川崎シンフォニーホール・森の劇場 いのちのシアター (松江市八雲林間劇場)

12:00 - 12:30 合同ディスカッション

クローズドセミナー

時間 14:00 - 16:00
会場 政策研究大学院大学3階 会議室3C

■研修生及び協力劇場関係者を対象としたセミナー
■2018年度インターネット調査分析結果についての報告

文化は、成果が出るまでに期間を要し、多元的で、便益の可視化、定量化は容易ではないが、説明責任の不履行は予算削減に直結する。また、活動評価は効率的な運営のために不可欠でもある。本セミナーでは、劇場活動に焦点を当て、社会的利益social returnの考え方も織り込みながら、エビデンスに基づく実効性のある評価システムを検討する。

2019年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
課題解決型のシアターマネジメントに向けた
次世代リーダー育成のためのプログラムの開発

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

公共政策プログラム
文化政策コース
CULTURAL POLICY CONCENTRATION

文部科学省
文化力
POWER OF CULTURE

[チラシ・裏面]

劇場の未来を考えるー課題解決型シアターマネジメントFINALー

文化政策チーム

堀内 恵美子
政策研究大学院大学公共政策プログラム
文化政策コース 教授、ディレクター

小川 由美子
政策研究大学院大学公共政策プログラム
文化政策コース 助手

アドバイザリー

齋藤 謙一
(一社) 日本劇場技術者連盟 理事長

津村 卓

(一財) 地域創造 プロデューサー
上田市交流文化芸術センター 館長兼プロデューサー
北九州芸術劇場 顧問

林 伸光

兵庫県立芸術文化センター セネラルマネージャー

本杉 省三

日本大学理工学部 特任教授

海外招聘パネリスト

クサビエ・グレフ
パリ第一大学 名誉教授: 財政学

クラウス・クンツマン

ドルトムント大学 名誉教授: 都市計画

主催

政策研究大学院大学公共政策プログラム
文化政策コース
Mail: culture@grips.ac.jp
URL: https://www.culture.grips.ac.jp/

参加費無料

(会場までの交通費及び宿泊費、懇親会費
等は各自負担ください)

※プログラムの内容は一部変更になる可能性
がございます。



政策研究大学院大学
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL: 03-6439-6000
URL: http://www.grips.ac.jp/jp/
●都営大江戸線「六本木駅」
7出口から徒歩5分
●東京メトロ日比谷線「六本木駅」
4A出口から徒歩10分
●東京メトロ千代田線「乃木坂駅」
5出口から徒歩6分

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

公共政策プログラム
文化政策コース
CULTURAL POLICY CONCENTRATION

劇場の 未来を考える

課題解決型シアターマネジメント FINAL
The Future of Theater : Problems and Solutions

国際シンポジウム

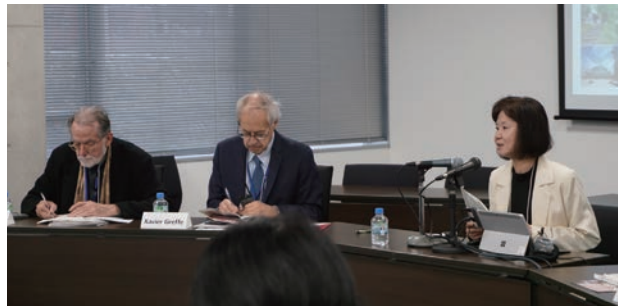
2019年11月26日〔火〕

2

PART I 基調講演

「文化政策はどこに向かっていくのか」

International Symposium on the Role of Cultural Policy in Development



垣内 恵美子 教授



Prof. Xavier Greffe
(クサビエ・グレフ 教授)



Prof. Klaus R. Kunzmann
(クラウス・クンツマン 教授)



開催日時：2019年11月26日（火）14：00－17：30

PART I 基調講演

クサビエ・グレフ、クラウス・クンツマン

劇場の 未来を考える

課題解決型シアターマネジメント FINAL
The Future of Theater : Problems and Solutions

国際シンポジウム

2019年11月26日〔火〕

5

PART II 館長会議

「劇場が地域社会にできること - 地方文化政策の再構築」

What Can Theaters Do for Local Development?



開催日時：2019年11月26日（火）14：00－17：30

PART II 館長会議

モデレーター：本杉 省三 パネリスト：齋藤 譲一、津村 卓、林 伸光、協力劇場館長 他

ワークショップ 開催風景

劇場の 未来を考える

課題解決型シアターマネジメント FINAL
The Future of Theater : Problems and Solutions

ワークショップ

研修生によるパネルディスカッション

2019年11月27日〔水〕

7

①文化創造・発信

北九州芸術劇場、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館



②観客創造

神奈川県民ホール、南城市文化センター・シュガーホール、パティオ池鯉鮒（知立市文化会館）



③地域社会との連携

神戸文化ホール、北上市文化交流センター さくらホール、
ミュゼ川崎シンフォニーホール、森の劇場 しいの実シアター（松江市八雲林間劇場）



クローズドセミナー 開催風景

劇場の 未来を考える

課題解決型シアターマネジメント FINAL
The Future of Theater : Problems and Solutions

クローズドセミナー

2018年度インターネット調査分析結果についての報告

2019年11月27日〔水〕

9



開催日時：2019年11月27日（水）14：00－16：00

研修生及び協力劇場関係者を対象としたセミナー

2018年度インターネット調査分析結果についての報告：垣内 恵美子

開催日時：2019年11月27日（水）10：30－12：30

協力劇場研修生によるパネルディスカッション（全16劇場のうち10劇場出席）